エコアクション21
環境経営レポート

期間：2017年 10月 ～ 2017年 12月

発行日：2018年 2月 2日

総合建設コンサルタント 測量･設計･補償･地質調査
株式会社 坂本建設コンサルタント

目　　次

1. 会 社 概 要

2. 事 業 内 容

3. 環 境 経 営 方 針

4. 実 施 体 制

5. 役 割・責 任・権 限

6. 環 境 目 標 及 び 中 長 期 環 境 目 標

7. 環 境 活 動 計 画 の 取 組 み と 評 価

8. 主 要 な 環 境 活 動 計 画 及 び 取 組 み 状 況

9. 環 境 関 連 法 規 の 遵 守

10. 代 表 取 締 役 に よ る 評 価 と 見 直 し

会 社 概 要

<table>
<tr><td>会社名</td><td colspan="4">株式会社　坂本建設コンサルタント</td></tr>
<tr><td>代表者</td><td colspan="4">山口　秀敏</td></tr>
<tr><td>設立</td><td colspan="4">1990年 1月（創業 1963年 8月）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">所在地
適用範囲</td><td rowspan="4">本社</td><td colspan="2">〒 741-0063　山口県岩国市関戸1017番地4</td></tr>
<tr><td>TEL ：(0827) 28 - 6005</td><td>Fax ：(0827) 28 - 6007</td></tr>
<tr><td colspan="2">E-mail ： saka@triton.ocn.ne.jp</td></tr>
<tr><td colspan="2">HP ： http://sakamoto-kc.com</td></tr>
<tr><td>環境管理責任者</td><td colspan="2">石﨑　智之</td><td>担当者</td><td>石﨑　智之</td></tr>
<tr><td rowspan="11">事業登録</td><td rowspan="5">建設コンサルタント</td><td>施工計画、施工設備及び積算部門</td><td rowspan="5">建26 第8212号</td></tr>
<tr><td>河川、砂防及び海岸、海洋部門</td></tr>
<tr><td>鋼構造及びコンクリート部門</td></tr>
<tr><td>下水道部門</td></tr>
<tr><td>農業土木部門</td></tr>
<tr><td colspan="2">測量業</td><td colspan="2">登録 第 (6) - 18835 号</td></tr>
<tr><td colspan="2">地質調査業</td><td colspan="2">質 26 第　2216 号</td></tr>
<tr><td>補償コンサルタント</td><td>土地調査部門</td><td colspan="2">補 25 第 4734 号</td></tr>
<tr><td rowspan="7">一般建設業</td><td>土木工事業</td><td colspan="2" rowspan="7">山口県知事許可（般 - 30）第 20169 号</td></tr>
<tr><td>石工事業</td></tr>
<tr><td>舗装工事業</td></tr>
<tr><td>水道施設工事業</td></tr>
<tr><td>とび、土工工事業</td></tr>
<tr><td>鋼構造物工事業</td></tr>
<tr><td>しゅんせつ工事業</td></tr>
<tr><td rowspan="4">事業規模</td><td colspan="4">資本金 ： 1,000 万円</td></tr>
<tr><td colspan="4">売上高 ： 2.8 億円 （ 28期実績　平成29年 1月 ～ 平成29年 12月）</td></tr>
<tr><td colspan="4">従業員数 ： 35 名</td></tr>
<tr><td colspan="4">延べ床面積 ： 596.17 m2</td></tr>
<tr><td>事業年度</td><td colspan="4">1月 ～ 12月</td></tr>
</table>

事　業　内　容

☆　主な事業内容

◎　公共事業に関する測量業務

→ 基準点測量
　地形測量
　応用測量
　河川測量
　用地測量

◎　公共事業に関する設計業務

→ 道路、河川設計
　橋梁設計
　砂防施設設計
　公共上下水道設計
　歩道、交差点設計
　公園、造成設計
　農業土木設計

◎　公共事業に関する地質調査業務

→ 地質、土質調査
　ボーリング調査
　地下水調査、試験
　水文調査

◎　公共事業に関する調査業務

→ 交通量調査
　道路付属物点検
　橋梁点検
　治山施設点検調査
　地すべり施設点検

◎　公共事業に関する補償業務

→ 土地調査
　物件調査
　土地評価
　補償関連業務

環 境 経 営 方 針

★基本理念

我が社は、地球環境の改善が重要であることを認識し、建設コンサルタントとしての事業活動を通じて、環境に配慮した活動を行うことにより、影響の軽減と自然との共生を進め社会づくりに貢献します。

★行動指針

１．法的規制等の遵守

環境関連法規等を遵守するとともに、環境負荷の低減及び環境汚染の防止に取り組みます。

２．温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の削減

節電を行うとともに、ガソリン使用量の削減による温室効果ガスの排出削減に努めます。

３．廃棄物削減の促進

廃棄物の減量化、再利用を促進し排出量の削減に努めます。

４．水使用量の削減

節水に努め水使用量の低減に努めます。

５．グリーン購入の促進

事務用品及び作業資材のグリーン調達に努めます。

６．環境配慮と啓発活動の促進

環境教育と啓発活動を行う事により、社員全員に本方針を周知し、社員の意識向上を図ります。

この成果として、顧客に対しては事業活動で得た環境保全に有用な情報を提供し、地域の環境活動に努めます。

平成29年 10月 2日制定
株式会社　坂本建設コンサルタント
代表取締役 [illegible]

実　施　体　制

環境経営に関する統括責任
環境経営方針の設定・見直し
環境経営目標の承認
全体の評価と見直し
環境経営システムの構築と運用

代表取締役
山口　秀敏

環境管理責任者
石﨑　智之

環境活動の代表者への報告
全従業員への周知
環境経営システムの運用・管理

環境事務局　（5名）
経営推進委員会　1名
事業推進委員会　2名
環境推進委員会　2名

エコアクションに関する文書および記録の作成・運用・管理
活動計画の実施状況の審議

※　定期的に指名する。

総務部、技術部（測量部・用地部・設計部・調査部）

エコアクション21の理解・確認・実施
環境経営計画の実施

役 割 ・ 責 任 ・ 権 限

代表取締役

１．環境経営に関する統括責任

２．環境経営方針（基本理念・行動指針）の制定・見直し

３．環境管理責任者・環境事務局の任命

４．環境経営目標の承認

５．環境経営システムに必要な設備・費用等の資源準備

６．代表取締役による全体の評価と見直しの実施

７．経営における課題とチャンスの明確化

８．取組の対象組織・活動の明確化

環境管理責任者

１．環境事務局の運営

２．環境経営システムの運営・管理

３．環境関連法規の遵守状況のチェック

４．環境活動計画表の取組結果を代表取締役へ報告

５．環境経営方針を全従業員に周知する

６．本マニュアルを作成

７．環境経営レポートを毎年１月に作成

８．教育・訓練を毎年１月に実施

環境事務局

１．環境経営目標の実施及び報告

２．環境管理責任者の補佐

３．環境経営目標の実施・運用・管理

４．環境活動計画表の取組の記録

５．環境関連法規の情報収集

６．フロー図及び災害対応手順書の作成

７．環境負荷・取組の自己チェック

環 境 経 営 目 標

環境経営目標								
環境目標と実績		単位	H29.1～H29.3	H29.4～H29.6	H29.7～H29.9	H29.10～H29.12		
			実績	実績	実績	目標	実績 達成率	評価
	CO2総排出量	kg-CO2	10,696.2	8,097.0	10,639.2	9,712.7	9,825.2 98.9%	×
	電力使用量	k w	8,258	5,726	6,418	6,733	6,202 108.6%	○
	社用車(ガソリン) 使用量	ℓ	2,138.3	1,775.7	2,663.7	2,170.7	2,377.7 91.3%	×
	廃棄物削減の促進 (コピー用紙廃棄量)	kg	155.4	88.8	96.2	112.2	99.9 112.3%	○
	上水使用量の削減	m3	26	36	44	35	36 95.8%	×
	グリーン購入の推進	グリーン品/ 購入総数 (品目)	7/26 (27%)	5/28 (18%)	2/18 (11%)	18.7%	1/19 (5%) 26.7%	×
	環境に配慮した計画・ 設計の推進	業務数/業務の 総受注件数	–	–	–	100% (年間)	100% (年間) 100%	–
	会社周辺の清掃及び 環境保全活動	実施回数	0	1	1	年1回以上	1 100%	○

(注意)

※ 電気の二酸化炭素排出係数は、中国電力:0.694kg-CO2/kWh(平成28年度・調整後排出係数)を適用しました。

※ ガソリンの二酸化炭素排出係数は、特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(経済産業省・環境省):2.322kg-CO2/lを適用しました。

※ ガス使用量は、当社において使用がないため、ガス使用量削減の目標に掲げません。

※ 化学物質使用量も、当社において使用がないため、化学物質使用量削減の目標に掲げません。

※ 環境に配慮した計画・設計の推進については、発注者の方針において再生材・環境保全ブロック等の使用が原則となっているため、集計対象から除外しました。

(目標値の設定の仕方)

・ 基準値は、9ヶ月の実績の平均×0.99 (上水使用量の削減については、×0.98、グリーン購入の推進については、9ヶ月の実績の平均)

環 境 経 営 目 標

中長期目標						
環境目標と実績		単位	H29	H30	H31	H32
			基準年度	目標	目標	目標
	CO2総排出量	kg-CO2	39,257.6	-1% 38,865.0	-2% 38,472.4	-3% 38,079.9
	電力使用量	k w	26,604	-1% 26,338.0	-2% 26,071.9	-3% 25,805.9
	社用車(ガソリン) 使用量	ℓ	8,955.4	-1% 8,865.8	-2% 8,776.3	-3% 8,686.7
	廃棄物削減の促進 (コピー用紙廃棄量)	kg	440.3	-1% 435.9	-2% 431.5	-3% 427.1
	上水使用量の削減	m3	142	-2% 139.2	-4% 136.3	-6% 133.5
	グリーン購入の推進	グリーン品/ 購入総数 (品目)	15/91 (16%)	+5% 21%	+10% 26%	+15% 31%
	環境に配慮した計画・ 設計の推進	業務数/業務の 総受注件数	100%	100%	100%	100%
	会社周辺の清掃及び 環境保全活動	実施回数	3回	年1回以上	年1回以上	年1回以上

(注意)

※ 電気の二酸化炭素排出係数は、中国電力:0.694kg-CO2/kWh(平成28年度・調整後排出係数)を適用しました。

※ ガソリンの二酸化炭素排出係数は、特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(経済産業省・環境省):2.322kg-CO2/lを適用しました。

※ ガス使用量は、当社において使用がないため、ガス使用量削減の目標に掲げません。

※ 化学物質使用量も、当社において使用がないため、化学物質使用量削減の目標に掲げません。

※ 環境に配慮した計画・設計の推進については、発注者の方針において再生材・環境保全ブロック等の使用が原則となっているため、集計対象から除外しました。

※ 目標の数値設定は基準年度から毎年-1%の削減を目標とする。(上水使用量の削減は-2%の削減を目標とする。グリーン購入の推進は5%の向上を目標とする。)

環境活動計画の取組と評価

☆ 環境活動計画計画表

環境目標、取組み目標を設定し、毎週、月初め、3か月、半年でチェックを行いました。
今後、△が◯に変わるよう社員一丸となり頑張って取組んでいきたいです。

承認	承認	承認	承認	承認	作成
12月28日	12月28日	12月28日	12月28日	12月28日	12月28日
代表取締役	専務	事業部長	設計部長	環境管理責任者	環境事務局

環境活動計画表

2017年度（ 7 月 ～ 12 月）

環境目標	取組み目標	活動項目	チェック頻度	月	7				8				9					10				11				12				
				日	8	14	22	29	5	10	19	25	2	8	16	22	30	7	14	20	27	4	11	18	25	2	9	16	22	28
1.二酸化炭素排出量の削減	1-1.電力使用量の削減	①空調機器フィルターの定期清掃。	半年		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
		②社内の照明は休憩時間、残業時など不必要な時は消灯する。	毎週		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○
		③OA機器を使わないときは、省電力モードか電源を切る。	毎週		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	○	○	△	○	○	○	○	△	△	○	○
		④冷暖房の設定温度は、夏季28℃、冬季20℃に設定するよう呼びかける。																												
	1-2.ガソリン使用量の削減	①オイル交換・車両点検の徹底。	半年		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
		②適切な時期でのタイヤ交換。	半年		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
		③エコドライブを呼びかける。（暖機運転はしない、不要な荷物はおろす、加減速の少ない運転等。）																												
		④ガソリン給油量の把握。	月初め		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○				○				○				○
3.廃棄物削減の促進	紙の総出量削減	①内部資料（会議・打合せ等）は両面印刷、裏紙利用する。	毎週		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
	再利用の促進	①トナーカートリッジの回収。	半年		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
4.水使用量の削減	使用水量の削減	①洗面所の蛇口等漏水の有無を確認する。	3か月		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									○				
		②食器、手洗い時に節水を呼び掛ける。																												
5.グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	①事務用品及び作業資材はグリーン商品を購入する。	購入時		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
6.環境配慮と啓発活動の促進	環境配慮設計	①環境に配慮した設計提案。	半年		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
	会社周辺の環境整備	②会社周りの定期清掃を実施する。	半年		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
チェック者名					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	山林	石井	宇都	小谷	山林	石井	宇都	小谷	山林	石井	宇都	小谷	山林

○ よくできた。　△ あまり出来なかった。　× 出来なかった。

保管：環境事務局

☆ 環境活動

社内に環境活動を啓発するポスター等を貼りました。

空調は、

暖房 → 20℃

冷房 → 28℃

と温度を設定し、省エネ活動に力を入れています。

台所、洗面台等には
節水とかかれたポスターを
貼り、水の無駄使いをしないよう
心がけています。

車には、『エコドライブ実施中』をかかげ、
空ぶかし、アイドリング、燃費の測定などを
行っています。

環境活動計画の取組と評価

☆ 緑化活動

花壇に花、木等を植えて、緑化活動に取り組んでみました。
今後、他にも種類を増やしていき更なる緑化活動に取り組んでいきたいです。

☆ LEDの照明、節電

室内の主な照明をLED照明にしました。
従来の蛍光灯に比べて省電力や長寿命が謳われています。
今後の、節電と経費削減に期待しています。

また、使用していない部屋、人がいない箇所、昼休みには電気を消し、
節電を心がけるよう取り組んでいます。

環境活動計画の取組と評価

☆ 紙の削減

コピーをする際、裏紙を使用したり、ペーパータオルを無駄使いせず
極力１枚で済ませる等、紙の削減に努めています。

☆ 清掃活動

年2回（8月、12月）会社周辺の清掃活動、週2回（水曜日、週終わり）の社内清掃を行っています
また、年1回（5月頃）に地域の方々と一緒に行う『錦川の清掃活動』に社員全員で参加し
微力ではありますが、地域貢献に努めています。

『錦川の清掃活動』

主 要 な 環 境 活 動 計 画 及 び 取 組 み 状 況

2017年　10月～12月

7-1. 二酸化炭素排出量の削減

取 組 み 目 標	活 動 項 目	取 組 み 状 況 及 び 評 価
電力使用量の削減	空調機器フィルターの定期清掃。	年2回の社内清掃時に行っている。
	照明は不必要な時は消灯する。	昼休み、残業時など不要な照明の消灯はできている。
	OA機器を使わないときは、省電力設定か電源を切る。	使用しないときは、省電力設定か電源を切るよう心がける。
	冷暖房の設定温度呼びかけ。（夏季28℃、冬季20℃）	ステッカーを貼ることで設定温度を意識して使用している。
ガソリン使用量の削減	オイル交換・車両点検の徹底。	社用車の担当者が管理を行う。
	適切な時期でのタイヤ交換。	社用車の担当者が管理を行う。
	エコドライブを呼びかける。	ステッカーを貼ることでエコドライブを意識した運転ができている。
	ガソリン給油量の把握。	給油時に給油量と走行距離の記録を行っている。

7-2. 廃棄物削減の促進

取 組 み 目 標	活 動 項 目	取 組 み 状 況 及 び 評 価
紙の総出量削減	内部資料（会議・打合せ等）は両面印刷、裏紙を利用する。	新しくプロジェクターを導入し、用紙の削減を行った。
再利用の促進	トナーカートリッジの回収。	業者を通じ適切な回収を行っている。

7-3. 水使用量の削減

取 組 み 目 標	活 動 項 目	取 組 み 状 況 及 び 評 価
使用水量の削減	洗面所の蛇口等漏水の有無を確認する。	漏水の有無を確認を行っている。
	食器、手洗い時に節水を呼び掛ける。	ポスター等を貼ることで節水を行っている。

7-4. グリーン購入の推進

取 組 み 目 標	活 動 項 目	取 組 み 状 況 及 び 評 価
グリーン購入の推進	事務用品及び作業資材はグリーン商品を購入する。	購入時にグリーン商品を選ぶように努めている。

7-5. 環境配慮と啓発活動の促進

取 組 み 目 標	活 動 項 目	取 組 み 状 況 及 び 評 価
環境配慮設計	環境に配慮した設計提案。	環境に配慮した設計ができるよう努めている。
会社周辺の環境整備	会社周りの定期掃除を実施する。	年2回の社内清掃時に行っている。

環境関連法規の遵守

環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。
また、過去3年間に渡り、違反、訴訟はありません。

環境関連法規

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事務所に適用される環境関連法規等の遵守の状況を確認した結果、違反はありません。

法規等の名称	ポイント	遵法評価
資源の有効な利用の促進に関する法律	・パソコン等のOA機器の適正処分 ・3Rの取り組み	○
自動車リサイクル法	・廃棄車両の適正な処分	○
浄化槽法	・保守点検の実施	○
地球温暖化対策推進法	・温室効果ガス発生の抑制措置	○
循環型社会形成推進基本法	・リデュース、リユース、リサイクル(3R)の実行	○
消防法	・火災の予防	○
道路交通法	・業務遂行に伴う道路の使用の許可 ・事業活動上での安全運転管理の推進	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン：全てに第一種特定機器が対象 ・自社での「簡易点検(3ヶ月に1回以上、目視点検)」の実施	○
グリーン購入法	・グリーン商品購入の推進	○
測量法	・事業登録と配置	○
河川法	・設計上での考慮すべき事項	○
自然再生推進法	・環境影響評価法の遵守をした設計、計画書の策定	○

2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間、いずれの法規等においても関係諸機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありません。

代表取締役	専務	事業部長	設計部長	環境事務局
1月4日	1月4日	1月4日	1月4日	1月4日

2018年 1月 4日

環境管理責任者　石﨑 智之

代表取締役による評価と見直し

今期からの取り組みであり、当初はEA21に対する認識不足が出ていたが、環境経営マニュアル作成及び改善により、取り組み内容を明確化し徐々にではあるが環境負荷に対する意識が上がったと評価できる。

その結果、「電力の削減」、「廃棄物の削減」は目標値をほぼ達成できた。

しかし、「ガソリンの削減」、「節水」、「グリーン購入」については目標値を下回った。

今後は環境事務局での教育訓練計画書の作成及び訓練の実施、環境管理体制図での各推進委員会の活動内容と従業員の配置（役割）を明確化し、委員会活動を通じ見直しも図りながら次年度の目標達成に向けて全社員で取り組んで参ります。

代表取締役　加藤 秀敏